

令和3年度 第1回佐倉市廃棄物減量等推進審議会の意見について(回答)

番号	ご質問・ご意見	回答
1	分別の徹底をお願いするという上では、「こういう風に出すとこんな感じにリサイクルされる」や「きちんと分けると労力とお金がかからずこれだけのものになります」という広報的なものも同時に考えていただいた方が良くと思います。	市民のみなさまにご協力いただくためには、ごみの出し方についてご理解いただく必要がございます。分別したものがどのようにリサイクルされ、どのような効果があるのかを広報紙や市ホームページ、CATVの広報番組などを通じて、周知啓発に努めてまいります。
2	ペットボトルの集積所収集については、将来的に国や飲料メーカー、小売店の動きとの整合性も必要になります。一旦ルールを決めて、1～2年で不整合が生じることがないよう、プランBも用意できるという風に検討したらどうでしょうか。	国や製造事業者等の動向を注視し、また、容器包装のリサイクルを担っている公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会との連絡を密にして、柔軟性をもった対応ができるよう検討してまいります。
3	「うめたてごみ」というのは一般市民からすれば、選別不可能でそのまま埋めているのだろうなという考え方が先行していると思います。教育も含めて啓発するのが市民からしても大切であると思います。	ごみ処理施設見学会やイベント開催時をはじめ、広報紙や市ホームページ、CATVの広報番組を通じて、排出されたごみがどのように処分されるかが分かるよう情報発信に引き続き努めてまいります。
4	ごみゼロ運動の日ですが、5月終わりで運動会と重なります。土曜日に運動会で日曜日がごみゼロ運動となっており、子供たちも疲れているのか参加が少ないようです。今後は日程の取り方を工夫していただいてもいいのかなと思います。	長年の間、ごみゼロ運動は5月30日(ごみゼロの日)の近い日曜日に市内一斉で行っている行事でございますので、日程の変更は考えておりませんが、運動会の開催と子供たちのごみゼロ運動への参加について実情がわかりましたので、貴重なご意見として承りました。
5	ペットボトルの出し方については便利になったと思う反面、指定袋をたくさん使うことになるのではないのでしょうか。また、収集やリサイクルなどに税金が今よりも多く投入されるのではないのでしょうか。	集積所の現状、収集体制や経費を考慮いたしますと、指定袋による収集が適していると考えております。排出されたペットボトルのリサイクルとともに、4Rのなかの「リフューズ(ごみとなるものは事前に断る)」「リデュース(ごみの発生抑制)」の意識について併せて啓発に努めてまいります。
6	市民への分別の仕方の周知が大事だと思います。市が月に2回出ている広報には載せられると思うのですが、それ以外の細やかな周知の方法があれば良いと思いました。	市ホームページやSNSの活用のほか、広報番組、イベントを通じて周知いたします。
7	廃棄物対策課以外にごみの分別を気軽に問い合わせのできる窓口があれば良いと思っています。例えばスマホで、「これはどう捨てればよいか検索すると捨てる品目が出てくる」とこれからの世代の方たちはやり易いのではないのでしょうか。	スマホで利用できるごみ分別アプリの導入等、様々な手法について研究してまいります。

番号	ご質問・ご意見	回答
8	分別の仕方を周知することが非常に大切だと思います。分別しないと処理に手間がかかるという周知を工夫しないといけないと思います。	収集されたごみがどのように選別され、どのようなものが異物として混入されているか、また、分別時の注意点には何があるかなどを広報紙などを通じて、周知に努めてまいります。
9	「お子様もするんだから大人もしないと恥ずかしいよね」というように、分別の徹底に関する啓発等で何かできたらなと思っています。	ごみ処理施設見学会などのイベントをはじめとした、子どもたちがごみについて学習できるような機会を創設してまいります
10	袋の切り替えは、売り切れ次第なのか途中で切り替えるのかといった袋の切り替えのスケジュールが分かりましたら、教えてください。	指定ごみ袋については、現在の製造・販売されている袋も継続して使用することを考えております。今後、指定ごみ袋の製造者と協議し、具体的スケジュールが整いましたらお示いたします。
11	佐倉市は分別収集の導入が非常に早く、ごみの減量化はかなり進んでいると思います。ペットボトルとその他プラスチック製容器の混合収集については、ペットボトルならペットボトルだけで排出する方法を考えてもらえたらと思います。	ごみの排出負担軽減や収集効率や収集経費を考慮した結果、ご提示した方法にて検討をお願いいたしました。
12	「うめたてごみ」の中に金属類等のごみが混入しないよう排出者に啓発する事も1つの方法かもしれませんが、極端なことを言いますと、うめたてごみをなくすというのも1つの方法だと思います。	「うめたてごみ」の分別の徹底につきましては、より一層、啓発に力を入れてまいります。
13	分別の教育や啓発という話ですが、まず「なんでやるのか？」という部分を教育していかないといけないと思います。 あと、処理費用についても「これくらいかかるんだよ」と市民に知らせるべきではないでしょうか。	家庭ごみの分別、ごみの減量やリサイクルについて、市民にご協力が頂けるよう、ご意見を踏まえながら周知してまいります。
14	指定袋で海外の方への対応が出ましたが、袋には印刷するスペースの問題もあると思います。例えばQRコードで見れたり、リンクに飛べるような工夫をすればスペースの問題も解決できると思います。例えば、指定袋の売り場の所で、これを読み込めばどの袋を買えば良い等が海外の言葉で出てくるようにしたらどうでしょうか。	指定ごみ袋等にQRコードを使用した啓発については、東京都豊島区の事例をはじめ他市事例を参考に研究してまいります。

番号	ご質問・ご意見	回答
15	ペットボトルの集積所収集は高齢化が進む中で良いことであると思いますが、集積所では人の目が無いので、汚れたものが出てしまうのではないのでしょうか。	ペットボトルの収集やリサイクルの意義につきまして、市民のみなさんにご理解いただき分別にご協力いただけるよう、広報紙などを通じて、啓発に努めてまいります。
16	指定ごみ袋の小型化は、小さい袋があるのは良いことですが、将来的に考えたときに現状のポリ袋とかの状態ですつといくのが疑問です。コンテナ回収は費用が掛かると言いますが、コンテナにしても市が全部負担ではなくて、各自治会の負担とか、個人的に補助が入っての購入とか、個人が個別に持ってて出すとか色々な方法で発想転換してほしいと思います。	コンテナ回収については、集積所の現状、収集体制の構築や収集経費、維持管理する市民負担を考慮いたしますと難しいと考えておりますが、今後の他自治体等の状況も注視し引き続き研究してまいります。
17	新しく袋を作る際に、例えば回収の曜日も袋に大きく入れておくというのはどうでしょうか。そうすれば、外国の方も曜日ならわかる方も多いでしょうから品目名はわからなくても、色と曜日で分かるのではないのでしょうか。	指定ごみ袋に記載するイラスト等については、引き続き研究してまいります。
18	外国の方が収集ルールが分からなくて、分別せずに出してしまう場合も多いでしょうし、本来であれば集積所に出せない事業者系のごみが集積所に出されていることもあります。違反シールを使用して出した人に間違っていることが分かるように置いてくるのですが、最終的には回収しなくてはいけないので、その辺の取り決めが甘い部分ではないかと思います。	集積所に排出されたルール違反ごみ等については、自治会と共同して注意看板の設置や排出者への指導を実施しておりますが、集積所の衛生保持や不法投棄ごみの誘発防止の観点からみても、状況により撤去することはやむを得ないものと考えております。